



令和 5 年度鹿島市水道事業決算の概要について

令和 6 年度 第 1 回鹿島市水道事業審議会

令和 6 年 1 0 月 2 3 日 (水)

修正版



令和5年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 業務量

(1) 配給水状況

決算書P20参照

事項	令和5年度	令和4年度	比較 (R5-R4)
年度末給水人口 (人)	24,134	24,342	△208
年度末給水戸数 (戸)	9,687	9,648	39
年間配水量 (m ³)	3,010,451	2,968,089	42,362
※年間有収水量 (m ³)	2,254,480	2,272,600	△18,120
年間有収水量率 (%)	74.9	76.6	△1.7

※「有収水量」とは漏水などを除き、料金収入になった水道水を意味します。

※有収水量率 = 年間有収水量 ÷ 年間配水量

令和5年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 収益的収支の特徴

決算書P20～21・P26～30参照

(1) 収支の比較

(税抜：千円)

事項	令和5年度	令和4年度	比較 (R5-R4)
収益的収入	536,182	534,194	1,988
収益的支出	462,998	453,860	9,138

(2) 収入の主な増減

事項	令和5年度	令和4年度	比較 (R5-R4)
給水収益	461,368	463,785	△2,417
他会計補助金	10,275	3,722	6,553

(3) 支出の主な増減

事項	令和5年度	令和4年度	比較 (R5-R4)
動力費	39,196	50,341	△11,145
委託料	54,866	43,738	11,128
負担金	14,231	4,874	9,357

令和5年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 収益的収支の特徴

決算書P5・P20～21参照

(4) 当年度純利益

(千円)

事項	令和5年度	令和4年度	比較 (R5-R4)
当年度純利益	73,184	80,334	△7,150

(5) 給水単価・給水原価

(円)

事項	令和5年度	令和4年度	比較 (R5-R4)
供給単価	204.64	204.08	0.56
給水原価	186.42	180.67	5.75

供給単価：1m³あたりの売値（給水収益÷年間有収水量）

給水原価：1m³の水を作るのにかかる費用

{（経常費用－受託工事費－長期前受金戻入）} ÷ 年間有収水量

令和5年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 資本的収支の特徴

決算書P31～33参照

(1) 収支の比較

(税込：千円)

事項	令和5年度	令和4年度	比較 (R5-R4)
資本的収入	124,464	200,162	△75,698
資本的支出	347,884	427,159	△79,275

(2) 収入の主な増減

事項	令和5年度	令和4年度	比較 (R5-R4)
企業債	105,800	182,200	△76,400

(3) 支出の主な増減

事項	令和5年度	令和4年度	比較 (R5-R4)
建設改良費	180,513	241,663	△61,150
企業債償還金	167,370	185,495	△18,125

令和5年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 資本的収支の特徴

決算書P3～4 参照

(4) 収入額が支出額に不足する額

(千円)

事項	令和5年度	令和4年度	比較 (R5-R4)
収支不足額	223,419	226,996	△3,577

※資本的収支の不足額は、内部留保資金により補填します。

【令和5年度補填財源（内部留保資金）の内訳】

①当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 15,571千円

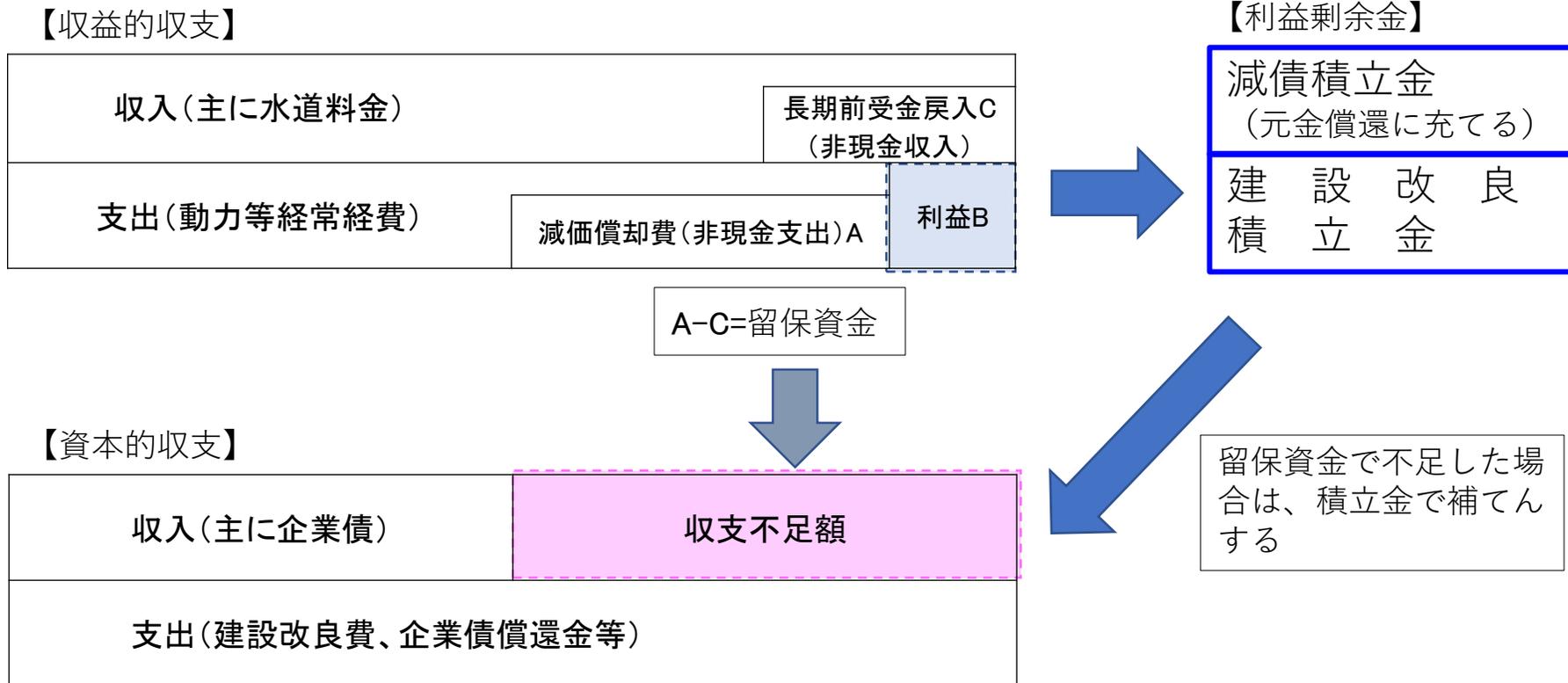
（資本的支出に係る仮払消費税 - 資本的収入に係る仮受消費税）

②当年度分損益勘定留保資金 177,189千円

（減価償却費・資産減耗費 - 長期前受金戻入）

③減債積立金 30,659千円（企業債の償還のために純利益を積み立てたもの）

令和5年度鹿島市水道事業決算の概要



- 収益的収支の留保資金で資本的収支の不足額（主に企業債償還金）を補てんしている。
- 収益的収支の利益は、減債積立金や建設改良積立金に積み立てる。留保資金で不足する場合は、積立金を取り崩し、資本的収支の不足額に充てる。

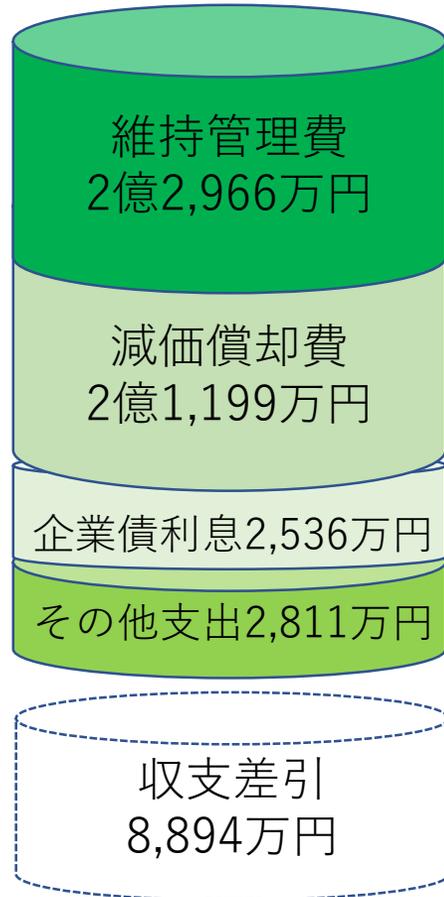
令和5年度鹿島市水道事業決算の概要

収益的収入（税込）
5億8,406万円

収益的支出（税込）
4億9,512万円

資本的収入（税込）
1億2,446万円

資本的支出（税込）
3億4,788万円



純利益7,318万円（税抜）は
積み立てて、留保資金となり、不足
額の補填財源として使用します。

令和5年度鹿島市水道事業決算の概要

■ 経営指標

決算書P14～15参照

事項	令和5年度	令和4年度	比較 (R5-R4)
①経常収支比率	115.81%	117.65%	△1.84
②料金回収率	109.77%	112.96%	△3.19
③有形固定資産減価償却率	61.34%	61.20%	0.14
④管路経年化率	7.63%	7.65%	△0.02
⑤管路更新率	0.55%	0.39%	0.16

- ①経常収支比率は、経常費用が経常収益によってどの程度賄われているか示すもので、100%未満である場合は、経常損失が生じていることを意味する。
- ②料金回収率は、事業に必要な費用を給水収益で賄えているかを表すもので、100%を超えているほどよい。
- ③有形固定資産減価償却率は、有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表すもので、資産の老朽化度合いを示している。一般的に数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多いことを示しており、将来の施設の更新等の必要性を推測することができる。
- ④管路経年化率は、法定耐用年数を経過した管路延長の割合を表す。
- ⑤管路更新率は、当該年度に更新した管路延長の割合を示す。